

1月役員会・代表委員会議事録ニュース



2023.1.31 さいたま市連協

各ブロックからの報告

行事を行ったブロックから、感想や開催の様子について報告がありました。オンラインで、各クラブをつなぎ、子どもたちが同じものを工作し、完成したものを発表する中で、お互いのクラブの様子に興味を持って画面を覗いていたり、声をかける姿があったようで、オンラインでも、予想以上に交流という形が取れたとのことでした。

区との懇談会を行う予定のブロックも複数あり、今年度区とのやりとりについて交流する時間も取れていなかったため、各区での現状を交流しました。その中で、要望として区では対応が難しいもの、逆に区だからこそお願いしやすいものを整理していく必要があるのではないか、また自分たちの区にある学童保育で、子どもたちがどのように生活しているのか、どのようなことに困っているのかなど、学童保育の様子を知ってもらう機会であることを改めて確認しました。

さいたま市放課後子ども居場所事業の今後の現状報告

代表委員会では、この間の事業についての行政・議会の動きと、市連協の動きについて共有を行いました。事業の細かい内容については、9月議会の議会ニュースや、12月議会の議員からの質問、市長の答弁に関する動画で共有しましたので、そちらをご確認いただきたいと思います。

また、来年度モデル4校の運営事業者が決まりましたので、その事業者についても共有しました。栄小（シダックス）鈴谷小（厚生福祉協会）岸町小（理究キッズ）新和小（社会福祉事業団）となります。今後当該の学区へのチラシや事業の内容にも注目したいと思います。

現状の動きに合わせて、市連協では9月代表委員会以降、各クラブから頂いた意見や、役員会での意見を基に市長に宛てた要望書を作成し、担当課を通じて市に提出しました。また、2月議会に向けて、議員の方々にも要望書を届け、市連協としての考えを伝えてきました。

要望書を作成するにあたり、居場所事業への認識や思いは様々あり、役員会の中でも市連協としての一致点をどこにするのか、検討を重ねてきました。そのうえで、安心して子どもを預けられる場所、専門性を持って子どもたち一人ひとりに丁寧寄り添っていくことが学童保育であり、居場所事業とは目的が異なり、代わりとなるものではないので、今後も学童保育が存続していくことの必要性を確認しました。

一先ず今年度の要望として届けましたが、来年度以降の具体的な動きにアンテナを張り、引き続き運動の方向性を探っていく必要がありますので、会員の皆さんと一緒に注目をしていきたいと思っています。

※情報を知っていただくために、代表委員会の資料フォルダにあります、居場所事業関係の資料、要望書をクラブの保護者の皆さんに広く共有をお願いします。

保護者会活性に向けた取り組み

代表委員会では、今年度の市連協の「保護者会は保護者と支援員で楽しく集える場」という活動方針について会員の皆さんと確認する時間を作りました。保護者と支援員が子どもを真ん中におき、保護者と支援員で話をしながら学童保育の生活を共に作り上げていくこと大切にしていくために、一方通行ではなく、意見を出し合える保護者づくりの工夫や意識していることについて、実際のクラブの様子を、三室学童から報告していただきました。

保護者会の活動として、大変な面も多いけど、子育て仲間として一緒にやっていくための、保護者同士

のつながり、また、行事を通して子どもたちと保護者のつながりができてきているというお話がありました。学童保育の生活を作るうえで、その時に利用している保護者や、生活している子どもたちの要望や願いが基になっており、保護者会の中で、その声を保護者の権利として出し合っていくことを大切にしていることを全体で確認することができました。また、一部の保護者の負担が大きくなるように、保護者同士で相談する場を設定したり、前年度の役員だった方がフォローをすることを意識しているという報告もあり、お互いに支え合うという意識についても確認ができるお話でした。

報告の後には、ブレイクアウトルームに分かれ、各グループで感想や自身のクラブの様子、相談し合える場にするための工夫、アイデアを出し合うなど、交流の時間を設けました。時間的な都合で各グループの内容を共有することができませんでしたが、今後同じように交流の機会を持つ際には、時間配分も含め検討していきたいと思います。

2024 年度定期総会に向けて

5月26日(日) 時間・開催方法は未定

市連協の総会は、各クラブ1票の議決権を持って可否を決めるため、事前に議題を配って、当日までに会の賛否をとってもらっています。下記のようなスケジュールで総会の準備を進めていきます。

①2月、3月の三役・役員会で今年度の振り返りと来年度の活動計画を討議します。

②3月24日の代表委員会で「総会議案書ダイジェスト版」の提案 ……➡ダイジェスト版とは

ご意見をいただき、内容を決定します。

③4月頃 各保護者会で、総会議案の内容を確認のうえ、保護者会としての賛否をとってください。



5月総会で議決

コロナ禍以降、オンラインのみ、会場とオンラインのハイブリッドなどで開催を行ってきました。コロナ禍もあけ、今後の開催方法については、代表委員会の場で意見を集めました。皆さんの意見を基に、2月三役会、役員会で検討していきたいと思います。

各組織の報告や決算などの都合で、総会議案書は当日近い日程でのお渡しになります。そのため、総会で議決の必要な内容だけを「ダイジェスト版」として事前に配布するものです。4月上旬を目標に全世帯へ配布します。

市連協主催就職フェアについて

2月23日(金、祝) 13:00~16:00 JACK 大宮会議室 1.2

以前より、議事録ニュースでお伝えしていました通り、クラブの人手不足への支援として、市連協主催の就職フェアを開催することとなりました。内容としましては、就職フェアに参加されている方に向けて、支援員の役割、お仕事内容、やりがいなどを現場の支援員から話して、支援員の仕事に対する理解や関心を持ってもらい、その後、各出展事業者のブースを回っていただく形を予定しています。

就職フェアでは、来場者を増やすことが、重要になります。そのため、インスタグラムや Google 広告を利用し、より多くの方に情報を発信したいと思います。また、チラシやパンフレットも作成しましたので、近隣の大学や保育関係の学校、ハローワークにも設置をお願いしていきます。

現在も出展事業者を募集していますので、人手不足にお困りの事業者は是非ご活用ください。

委員会報告

指導員を支える委員会

今年度委員会では、ストレスチェックの集約結果から見える分析と、支援員のストレスの原因が具体的にどのような所なのか、細かい原因を探るために、指導員の困り事アンケートを実施し、この二つの結果を基に、指導員が抱えていること、市連協として取り組んでいけることが何なのか、対応を相談している状況です。今後3月の委員会で、市連協として取り組めること、クラブへ発信できることを探っていき、3月の代表委員会の場でも報告したいと思います。

安心安全マニュアル委員会

安心安全マニュアル委員会では、令和6年度より策定が義務となる「安全計画」について、議論を重ねました。利用する児童の安全を確保するために、安全への取り組みを計画的に実施するために策定することを国が定めたものになり、市へ委託調書としても提出が必要になります。

安全計画を各クラブで初めて作成するにあたり、安全計画の役割や意味、運用について確認を行ってきました。また、作成するうえでの内容、運用についても市の担当課とも確認を取りながら、クラブで作成するための一助として、安全計画記入例を委員会で完成させました。

今後の予定としては、作成例を基にした確認会を行います。

2/19（月）・2/22（木） 10:15～11:15 どちらも内容は同じになりますので、計画の作成を予定している方は、是非ご参加ください。

保護者会活性委員会

保護者会活性委員会からは、自己評価チェックシートについて提案をしました。福祉業界では、事業がきちんと行われているか評価を必要としており、現状放課後児童クラブでは、努力義務とされています。来年度より、子ども居場所事業という学童保育とは違う事業が始まる中で、その事業内容との違いを理解する意味合いとして、学童保育が求められている機能を何なのか確認していくことができるものとなっています。学童保育が国から求められていることを考えるキッカケにもなるため、是非クラブでも取り組んでいただきたいと思います。また、クラブによって環境の違いがある中で、個別に対応策が見いだせないこともあるかと思しますので、そういった内容も寄せて頂き、今後の市連協の活動につなげていきたいと考えています。

運営体交流会

今年度、市連協非加盟の運営事業者にも広く呼びかけ、子ども居場所事業に関係する内容で、交流を行ってきました。子ども居場所事業がさいたま市全域に展開されていくことは、既存の学童保育にも大きな影響があり、事業者には大きな打撃を与えることとなります。そのため、さいたま市の事業者へ賛同も得ながら、市に対しての要望書を現在作成しており、今後市へ提出していきたいと思います。

事務連絡

〇「令和6年度能登半島地震」で被災した学童保育を支援する募金についてお願い

全国学童保育連絡協議会より「自然災害 学童保育支援金」のご協力のお願いがありました。

市連協ホームページでもこの内容についてはご案内しています。こちらの募金については、各クラブでもご賛同いただけましたら、ホームページにあります指定の口座までお振込みをください。ご協力お願いいたします。また、市連協としても、日本の学童はいく1月号の還元金を募金することとなりました。

金額は1冊32円×1330冊=42560円 になりますので、ご理解の程、よろしく願いいたします。

○2023 年度クラブ支援について

1月役員会までにクラブ支援の申請をいただいたものについては、すべて承認いたしました。各クラブへのお振込みについては完了しておりますので、各クラブでご確認のうえ、何かありましたら市連協事務所までご連絡ください。申請については、引き続き受け付けていますので、是非ご活用ください。

◇2024 年度行政委託説明会 2月10日(土) 9:30~11:30 ZOOM 開催(一法人一端末)

◇2024 年度全国学童保育研究集会

次年度の全国学童保育研究集会の開催地と開催方法が決定しましたので、ご案内です。

2024年11月16日(土) 岡山県倉敷市民会館(座席数約2000席)

11月17日(日) JR山陽本線沿線の大学

次年度も現地会場とオンラインでのハイブリッド開催になります。また、申込の時期が近づきましたら、正式にご案内いたします。

◇令和6年度 子ども家庭庁 放課後児童クラブ関連の予算について

子ども家庭庁より、来年度国の予算で「常勤の放課後児童支援員を2名以上配置」した場合に、現状の基準額より、約180万円の増額となる新たな基準が創設されました。

さいたま市としては、有資格者の常勤2名体制を基本としていますので、導入された場合は委託金としても大きく上がることは予想できますが、市の負担金もあるため、さいたま市に導入するためには、いくつかの手順を踏まなければ、実現されません。

これをさいたま市でも実現するためには、市連協でも大きく運動を展開していく必要がありますので、会員の皆さんも注目していただき、ご協力をお願いいたします。

【代表委員会資料フォルダのURL】

https://drive.google.com/drive/folders/1IDbPrJGQULZNGLRZvncvrb1x9q_Ly9F?usp=sharing

今後の日程

- | | | |
|----------|-------------|--------------|
| 2月10日(土) | 9:30~12:00 | 三役会 |
| 2月17日(土) | 9:30~12:00 | 役員会 |
| 3月9日(土) | 9:30~12:00 | 三役会 |
| | 13:30~15:00 | 安心安全マニュアル委員会 |
| 3月16日(土) | 9:30~12:00 | 役員会 |
| | 13:30~15:00 | 指導員を支える委員会 |

今後の代表委員会

第5回 3月24日(日) 9:30~11:30



発行：さいたま市学童保育連絡協議会 TEL 048-840-0962 / FAX048-840-0963

※このニュースはクラブのすべての保護者の方がご覧になれるようご配慮ください